

自己改革の経過報告

JA あいら伊豆は、自己改革の実践を大きなテーマとし、「JA あいら伊豆 3 か年計画～ともに拓こう、協同が輝く時代」（平成 29 年度～令和元年度）を策定し、実施項目の着実な継続とレベルアップをはかりながら自己改革の実践を行っています。主な取り組みの経過につきまして報告いたします。

ＪＡあいら伊豆の自己改革への取り組み。

ＪＡあいら伊豆は、「農家組合員の農業所得の向上」と「地域社会への適切なサービス提供」を柱に自己改革に取り組んでいます。

農業所得の向上については、ＪＡの強みを生かし、生産部会員、ファーマーズマーケット出荷者等を重点に取り組んでいます。

また、地域に根ざした協同組合として、信用事業、共済事業、生活関連事業（購買、葬祭等）など様々な事業や活動を行い、農家組合員、准組合員さらには地域の方々のくらしに必要なサービスを提供しています。地域で様々なサービスを利用いただくことで、営農指導や農業関連施設への投資などが可能となり、農家組合員の農業所得の向上につながっています。

ＪＡは、農業者を中心とした組合員が「力を合わせて」共通の願いをかなえるために組織した「協同組合」です。ＪＡあいら伊豆は、話し合いを通じて組合員の「思い・願い」を受け止め、今後とも自己改革に取り組んでいきます。

ＪＡあいら伊豆 自己改革基本方針

ＪＡあいら伊豆では、次の３項目を主軸に自己改革に取り組んでいます。

- 1 農業所得の向上に向けた取り組み
- 2 組合員加入促進に努め、地域に根ざしたＪＡを目指す
- 3 経営の安定化

組合員との話し合いの取り組み状況

・女性部と常勤理事との懇話会

日 程：平成 30 年 8 月 27 日（月）

参加者：女性部役員 16 名、役職員 5 名

内 容：女性大学、女性部活動に関する意見がありました。

懇話会を通じて出た意見につきましては、今後、自己改革への取り組みの参考とさせていただきます。

・認定農業者との話し合い

日 程：①平成 30 年 6 月 7 日（木） ②平成 30 年 11 月 29 日（木）

参加者：①②認定農業者延べ 23 名、役職員延べ 12 名

意 見：お買い得肥料の種類を増やしてほしい。

肥料・農薬のコスト削減をさらに進めてほしい。

規格外の橙の活用をしていただきたい。

リスの駆除をしたいので、リスの「箱わな」を貸してほしい。

対 応：

- ・お買い得農薬や肥料の種類を増やしました。
- ・橙の新たな活用方法については、熱海商工会議所と共同で研究を行っています。
- ・わなの会の会員に対して、リスの「箱わな」の無料貸し出しを実施しました。

・組合員座談会の実施

日 程：平成 30 年 5 月 18 日（金）～23 日（水）

参加者：正組合員 178 名、役職員 20 名

内 容：事業報告、自己改革の取り組み状況の報告について。

意 見：三の原トレーニング圃場生徒の受け入れについて。

剪定枝の焼却による排煙の苦情を受けることがあるため、なんとかしてほしい。

対 応：

- ・トレーニング圃場の区画を拡大し、新規就農を目指す生徒の受け入れを再開しました。
- ・樹木粉碎機を 3 台導入し、正組合員に対する無料貸し出しを開始いたしました。



自己改革実践取り組み状況

改植事業への取り組み

1. 【取り組み内容】

・平成 28 年度から、果樹経営支援対策事業に該当しない農家に対して「あいら伊豆農協果樹改植事業」を実施し、組合員の果樹改植事業の支援を行っています。(あいら伊豆農協果樹産地構造改革計画に基づき、柑橘・キウイフルーツ等の果樹の改植に要する経費及び未収期間に要する経費の助成をする事業)

【成果】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
改植者数	16 名	33 名	45 名
苗木本数	336 本	751 本	1,065 本
助成金額	348,000 円	851,000 円	1,137,000 円

2. 【取り組み内容】

・果樹改植事業の未収益期間短縮を目指し、1 年生苗木(田口早生、青島 A-44、甘夏、レモン)の大苗育苗を始めました。地区座談会にて改植事業と大苗育苗の取り組みについて周知を行い平成 30 年度は、寿太郎の大苗育苗も始めました。



【成果】

・平成 31 年 3 月、柑橘部会員と共販出荷者の大苗供給希望に 3 年生の苗木約 400 本を供給しました。
・2 年後の大苗供給に向けて、新たに 1 年生苗木(青島 A-44) 500 本の大苗育苗も始めました。



有害鳥獣被害の軽減に向けた取り組み

【取り組み内容】

・有害鳥獣による農作物被害の軽減を図る為、有害鳥獣捕獲費用助成、狩猟免許に係る助成、防護資材購入助成、わなの会の活動やわな資材助成などを行っています。

平成 30 年度有害鳥獣対策に関する支出状況

・ 有害鳥獣捕獲助成金	1, 931, 500 円
・ 狩猟免許に関わる助成金	347, 128 円
・ 被害防止資材購入に対する助成金	876, 544 円
・ 熱海ワナ・伊東わなの会活動、わな資材助成金	329, 293 円
・ モデル園の設置・捕獲器材購入	1, 145, 005 円
合計	4, 629, 470 円

年度別有害鳥獣対策支出金額

	27 年度	28 年度	29 年度
支出金額	7, 130, 000 円	7, 770, 000 円	6, 980, 000 円

【成果】

・有害鳥獣捕獲費用、狩猟免許に係る費用、防護資材購入費用助成や、わなの会にて狩猟講習会を行うことにより、組合員の捕獲技術の向上と農作物の被害軽減に努める事が出来ました。



【電気柵の設置】



【わなの会狩猟講習会】

機器導入による農作業の軽減

【取り組み内容】

・平成 30 年 9 月、正組合員の方々を対象に、可動式の樹木粉碎機 3 台の無料貸し出しを始めました。

【成果】

・果樹の剪定や防風林等の農地整備に発生した樹木を簡単にチップにできます。また、焼却処分による煙害の発生も防ぐことが出来て、作業の効率が向上しました。平成 30 年は、延べ 33 名の正組合員の方に 104 日間の貸し出しを行う事が出来ました。



新商品（肥料）の導入による農作業の軽減

【取り組み内容】

・平成 30 年 11 月、東部地区の J A では初導入となる「新ふりかけ堆肥エコ」の販売を開始しました。

【成果】

・新ふりかけ堆肥エコは、通常の堆肥の 10 分の 1 の量で土作りが出来ます。
・平成 30 年 11 月、認定業者の方々へ、柑橘の年 3 回の施肥を、1 回に出来る中晩柑専用一発肥料らくらくオレンジの紹介も行い作業の軽減を目指し 2 種類の肥料を紹介しました。



新たな作物栽培による農業所得の向上

【取り組み内容】

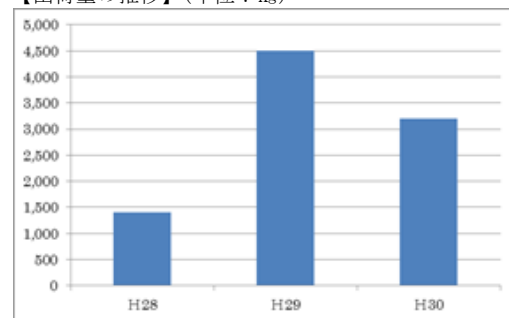
- ・平成 28 年 5 月に生産者 9 名による「クッキングトマト栽培の会」を設立。「アイランドルビー®」の商標を取得しトマトのブランド化に取り組んでいます。



【成果】

- ・平成 30 年度は、冷凍施設を新設しました。アイランドルビーの周年供給を目指し、夏場のトマトの冷凍保存を行い、冷凍トマトの販売や、トマトピューレやトマトジャムなどの加工品を製造しました。

【出荷量の推移】（単位：kg）



加工品製造販売による農業所得の向上

【取り組み内容】

加工品（農家のきもち）の製造販売による規格外みかん原料の有利販売に取り組んでいます。



【成果】

経済連等への販売から、加工品（農家のきもち）の製造販売による手取向上

	経済連等 販売数量	加工用販売数量（直販含む）		生産者手取単価 （税込）
		数量	単価	
平成 25 年度	40,708 kg			2.59 円
平成 26 年度	20,258 kg	1,578 kg	50 円	10.43 円
平成 27 年度	15,696 kg	10,436 kg	50 円	21.48 円
平成 28 年度	8,252 kg	18,273 kg	60 円	40.53 円
平成 29 年度	7,984 kg	18,330 kg	61.7 円	43.12 円
平成 30 年度	10,338 kg	18,418 kg	61.9 円	40.75 円

出張ファーマーズマーケットの開催

【取り組み内容】

生産者と消費者が直接対面する機会を設定することで、管内農産物を広くPRするとともに、消費者へ農産物の安心・安全を届け、JAファンの増加を図ることを目的に開催しました。

【組合員の声】

- ・消費者や他の生産者と直接交流でき、やりがいを感じた。
- ・生産者同志の交流に繋がった。

【成果】

出店団体数	売上金額
17 団体	458,370 円



学校給食への取り組み

【取り組み内容】

- ・平成 28 年 9 月からの学校給食事業開始に伴い、地産地消の新たな取り組みとして、蔬菜部会員が生産した管内農産物を学校給食として納品しています。

【成果】

	販売金額
平成 28 年度	1,250,316 円
平成 29 年度	1,599,870 円
平成 30 年度	2,875,731 円



生産資材コスト軽減による農業所得の向上

【取り組み内容】

- ・営農指導員による各部会での資材・肥料等の共同購入の実施。
- ・土壌診断結果による適正な施肥指導や農薬・肥料特別対策による値下げを実施。

農業所得の向上 生産資材コスト軽減対策							
1. 農薬・肥料特別価格							
農薬特別対策値下げ		28年度		29年度		30年度	
		20品目	19品目	14品目	14品目	16品目	14品目
		(5月実施)	(1月実施)	(6月実施)	(12月実施)	(6月実施)	(12月実施)
内訳	殺虫剤	10品目	9品目	9品目	8品目	8品目	9品目
	殺菌剤	8品目	6品目	4品目	4品目	6品目	5品目
	除草剤	2品目	4品目	1品目	2品目	2品目	2品目
	粒剤・土壌消毒剤						
肥料特別対策値下げ		4品目	4品目	5品目	7品目	7品目	7品目
		(9月実施)	(1月実施)	(7月実施)	(11月実施)	(7月実施)	(12月実施)
内訳	高度化成	1品目	1品目	1品目	2品目	2品目	2品目
	燐硝安			1品目	1品目	1品目	1品目
	硝化抑制剤入	1品目	1品目	1品目	1品目	1品目	1品目
	石灰類	1品目	1品目	1品目	1品目	1品目	1品目
	配合類	1品目	1品目	1品目	2品目	2品目	2品目
2. 部会等共同購入							
池部農会	植木関係部会		土壌分析検体提出者		蔬菜部会	クッキングマト栽培の会	
水稻共同防除	生産資材共同仕入		肥料予約注文		生産資材共同購入	生産資材共同購入	
H30年7月実施	H30年7月実施	H31年2月実施	H30年10月実施	H31年2月実施	H31年2月実施	H31年2月実施	
農薬(殺菌剤)	根巻ポット	根巻ポット	窒素質肥料	窒素質肥料	フレッシュタイ	農薬(殺虫剤)	
1品目	8品目	8品目	2品目	2品目	2品目	7品目	
	グリーンシート	グリーンシート	リン酸質肥料	リン酸質肥料	テープ	農薬(殺菌剤)	
	10品目	10品目	3品目	3品目	2品目	3品目	
		麻縄ケース	カリ質肥料	カリ質肥料	マルチ	マルチ	
		2品目	1品目	1品目	1品目	3品目	
		スリングベルト	石灰・苦土質肥料	石灰・苦土質肥料	堆肥		
		2品目	5品目	5品目	2品目		
			NK・PK化成肥料	NK・PK化成肥料	高度化成		
			2品目	2品目	1品目		
					燐硝安		
					1品目		
					種まき培土		
					1品目		

2. 部会等共同購入

池部農会	植木関係部会		土壌分析検体提出者		蔬菜部会	クッキングトマト 栽培の会
水稻共同防除	生産資材共同仕入		肥料予約注文		生産資材共同購入	生産資材共同購入
H29年7月実施	H29年7月実施	H30年1月実施	H29年10月実施	H30年2月実施	H30年1月実施	H30年2月実施
農薬(殺菌剤)	根巻ポット	根巻ポット	窒素質肥料	窒素質肥料	フレッシュタイ	農薬(殺虫剤)
1品目	7品目	7品目	2品目	2品目	2品目	3品目
		グリーンシート	リン酸質肥料	リン酸質肥料	テープ	農薬(殺菌剤)
		7品目	3品目	3品目	2品目	3品目
			カリ質肥料	カリ質肥料	マルチ	マルチ
			1品目	1品目	1品目	3品目
			石灰・苦土質肥料	石灰・苦土質肥料	堆肥	
			5品目	5品目	1品目	
			NK・PK化成肥料	NK・PK化成肥料	高度化成	
			2品目	2品目	1品目	
					燐硝安	
					1品目	
					緩効性肥料	
					1品目	

地域社会への適切なサービスの提供

「1 支店 1 協同活動の実施」

取り組み内容

組合員や地域の皆さまとの絆づくりに努め、地域に根ざしたＪＡを目指した取り組みを行なっています。

成果

各部署において２８の活動を通じて地域との絆づくりに取り組みました。また、次代を担う子供たちと農業体験を行うことにより、食と農の大切さを学ぶことができました。



「子育て支援教室の開催」

取り組み内容

未就園児と母親が楽しみながら仲間づくりや子育ての悩みを共有する場を提供することにより、地域との繋がりの強化を図りました。

成果

６会場で、６４組の親子の方々にご参加いただきました。会場では保護者同士で会話を楽しむ場面も多く見受けられ、目的の一つに掲げた「親同士のコミュニケーション」を実現する場となりました。



「女性大学の開催」

取り組み内容

女性大学を開校し、若い女性リーダーの育成に取り組んでいます。

成果

開校以来３年が経過し、３８名の受講生が受講しました。年間のカリキュラムを通じて仲間づくりを図ることができました。





おいしいをつくりましょ。



JA あいら伊豆